

問1 1960年代に日本の主要なエネルギー源が石炭から石油へと大きく転換した「エネルギー革命」に関連して、その後の日本の資源利用の状況を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 石油への転換によって石炭の需要は減少したが、近年の技術革新により国内の炭鉱での採掘量が再び増加し、自給率が50%を超えている。 | 2. エネルギー革命後、国内の炭鉱は次々と閉山したが、石炭自体は現在も火力発電や鉄鋼業の原料として重要であり、オーストラリアなどから多く輸入されている。 | 3. エネルギー革命によって国内での石炭利用は完全に廃止され、現在は環境保護の観点からすべての石炭を輸出に回している。 | 4. エネルギー革命以降、石炭は主に自動車の燃料として利用されるようになり、サウジアラビアなどの西アジア諸国からの輸入が急増した。 |
|--|--|---|---|

問2 ニュージーランドにおける移民の歴史や社会政策について説明した記述として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 北極圏から移動してきたイヌイットの生活様式を国の基盤としており、トナカイの遊牧を中心とした社会を維持している。 | 2. イギリスの植民地であった歴史背景を持つが、現在は先住民であるマオリの言語を公用語の一つに定め、多文化社会の形成を進めている。 | 3. オーストラリアの先住民であるアボリジニの文化を全面的に取り入れ、アジアからの移民を厳しく制限する政策をとっている。 | 4. 白人以外の移民を制限する白豪主義と呼ばれる政策を長年維持しており、先住民の文化を公に認めることは禁じられている。 |
|--|---|--|---|

問3 南アメリカ大陸の太平洋沿岸に沿って広がる標高の高い山岳地帯では、厳しい自然環境に適応するための生活の知恵が見られます。この地域において、寒さから身を守るための衣服の材料として古くから利用されている動物と、その地域の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------|-------------------------|-----------------------|---------------------|
| 1. アンデス山脈で飼育されているアルパカ | 2. チベット高原で飼育されているカシミヤ山羊 | 3. エチオピア高原で飼育されているラクダ | 4. ヒマラヤ山脈で飼育されているヤク |
|-----------------------|-------------------------|-----------------------|---------------------|

問4 2020年の経済統計において、国内総生産（GDP）の総額が約1兆4000億ドル、1人あたりの国内総生産が約6800ドルを記録したブラジルの経済状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 1人あたりの国内総生産が非常に高く、欧米の先進国と同等の経済水準に達している。 | 2. 南アメリカでは中程度の経済規模であり、隣国のアルゼンチンやチリよりも国内総生産の総額は低い。 | 3. 国内総生産の総額は大きいものの、1人あたりの国内総生産はアフリカ諸国の平均を下回っている。 | 4. 南アメリカ最大の経済規模を持ち、1人あたりの国内総生産はインドやコートジボワールを上回る水準にある。 |
|--|---|--|---|

問5 オーストラリアにおいて、1970年代まで続けられていた、ヨーロッパ系以外の移民を制限することで白人中心の社会を維持しようとした政策を何といいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|---------|---------|----------|
| 1. アパルトヘイト | 2. 白豪主義 | 3. 同化政策 | 4. 多文化主義 |
|------------|---------|---------|----------|

問6 ブラジルの首都ブラジリアについて、その建設の背景や特徴を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. ブラジル最大の人口を抱える経済の中心地であり、多くの日系人が居住している都市である。 | 2. 内陸部の開発を目的として計画的に建設され、近代的な都市景観が世界遺産に登録されている。 | 3. アマゾン川の河口付近に位置し、熱帯雨林の保護と観光の拠点として建設された都市である。 | 4. 植民地時代から続く歴史的な港町であり、コーヒーの輸出拠点として発展した旧首都である。 |
|---|--|---|---|

問7 オーストラリアの統計において、森林面積の割合が約17%、人口密度が1平方キロメートルあたり約3人と、いずれも低い数値となっている理由として、自然環境の観点から述べた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 国土の大部分が寒冷な気候に属しており、永久凍土が広がっているため。 | 2. 国土の大部分が標高の高い険しい山脈で占められているため。 | 3. 国土の大部分が熱帯雨林であり、農業開発が困難であるため。 | 4. 国土の大部分が乾燥帯に属しており、砂漠や草原が広がっているため。 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|

問8 1960年代から2010年代にかけてのオーストラリアにおける移民の動向について、1961年には約178万人だった移民の総数が2016年には約691万人にまで増加しました。この期間における出身地域別の構成変化として正しい記述はどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. ヨーロッパ州からの移民が依然として全体の9割以上を維持しており、移民の総数だけが増加した。 | 2. アジア州からの移民が急増した結果、ヨーロッパ州からの移民の「実数」は1961年時点よりも減少した。 | 3. アフリカ州からの移民が急速に増加し、2016年には出身地域別で最大の割合を占めるようになった。 | 4. かつて9割近くを占めていたヨーロッパ州からの割合が低下し、アジア州からの割合が最大となった。 |
|--|--|--|---|

問9 ブラジルの都市部における人口動態を分析した資料によると、農村から都市へと人々が流入し続けている背景が示されています。このような状況が起きている理由として、適切な説明はどれですか。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 農村部での機械化が全く進んでおらず、都市部から農村部へ労働者が移動して農業に従事しているから | 2. 都市部にある教育機関で学び、高度な知識を身につけた後に必ず農村へ戻って農業を継ぐことが義務化されているから | 3. 政府が観光産業を振興させるために、農村部の住民全員を都市部へ呼び寄せる政策をとっているから | 4. 都市部の方が農村部よりも仕事の選択肢が多く、より良い現金収入や生活環境が得られると考えられているから |
|---|--|--|---|

問10 世界地図において緯線と経線が直角に交わる投影法を用いたとき、南太平洋の広い範囲に点在しているサモアやトンガなどの国々は、地理区分上のどの州に分類されますか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. ヨーロッパ州 | 2. アフリカ州 | 3. 南アメリカ州 | 4. オセアニア州 |
|-----------|----------|-----------|-----------|

問11 南アメリカのアンデス山脈に見られる伝統的な民族衣装「ボンチョ」について、この衣服が主に「毛織物」で作られ、かつ袖のない形状をしている理由として、地域の自然環境や生活の背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 多雨な温帯地域において、雨に濡れてもすぐに乾くよう、植物の繊維を薄く編み込む必要があるため。 | 2. 標高が高く冷涼な気候であり、家畜として飼育しているリャマやアルパカの毛が容易に入手できるため。 | 3. 熱帯の低地において、通気性を高めて湿気を逃がしやすくし、害虫から身を守るため。 | 4. 広大な乾燥地帯において、砂嵐が衣服の中に入るのを防ぎ、直射日光を遮るため。 |
|---|--|--|--|

問12 オーストラリアの人口密度は1平方キロメートルあたり約3人と、世界的に見ても極めて低い数値となっています。このように広大な国土に対して人口密度が非常に低い状態となっている主な要因として、内陸部の自然環境について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 国土の大部分が乾燥した砂漠や草原であり、農業や居住に適した地域が限られているため | 2. 国土の大部分が熱帯雨林に覆われており、年間を通じて降水量が多すぎるため | 3. 国土の大部分が標高の高い険しい山脈で占められており、都市開発が困難であるため | 4. 国土の大部分が永久凍土に覆われた寒冷な気候であり、資源開発が制限されているため |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 エネルギー革命後、国内の炭鉱は次々と閉山したが、石炭自体は現在も火力発電や鉄鋼業の原料として重要であり、オーストラリアなどから多く輸入されている。	1960年代、安価で輸送が容易な石油が普及したことで、エネルギーの主役が石炭から石油へと移り変わる「エネルギー革命」が起きました。これにより国内の炭鉱は衰退しましたが、石炭は依然として鉄鋼の製造（燃料・原料）や火力発電において不可欠な資源です。現在の日本は、供給が安定しているオーストラリアなどから大量の石炭を輸入して需要をまかなっています。
問2	答え 2 イギリスの植民地であった歴史背景を持つが、現在は先住民であるマオリの言語を公用語の一つに定め、多文化社会の形成を進めている。	ニュージーランドはかつてイギリスの植民地でしたが、1980年代以降、先住民マオリの権利回復や言語の公用語化など、多様な民族の文化を尊重する「多文化主義」の政策を推進しています。これに対して白豪主義は隣国のオーストラリアがかつて行っていた政策であり、イヌイットは北米などの北極圏に住む人々を指します。
問3	答え 1 アンデス山脈で飼育されているアルパカ	南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈は標高が非常に高く、寒冷な気候です。この地域の人々は、古くから飼育しているアルパカの毛を利用して保温性の高い厚手の衣服を作り、重ね着をすることで厳しい寒さに対応しています。他の選択肢にあるヒマラヤ山脈やチベット高原はアジアに位置し、エチオピア高原はアフリカに位置するため、南アメリカ大陸の説明としては適しません。
問4	答え 4 南アメリカ最大の経済規模を持ち、1人あたりの国内総生産はインドやコートジボワールを上回る水準にある。	ブラジルは南アメリカで突出したGDP総額を誇る経済大国です。統計によれば、1人あたりの国内総生産についても、同じBRICSの一員であるインドや、アフリカの発展途上国であるコートジボワールといった国々と比較して高い水準を維持しており、新興国の中でも安定した経済基盤を築いていることがわかります。
問5	答え 2 白豪主義	オーストラリアはイギリスの植民地であった歴史的背景から、白人以外の移民（主にアジア系や太平洋諸島系）を厳しく制限する政策をとっていました。これを「白豪主義」と呼びます。しかし、第二次世界大戦後の労働力不足や、国際社会からの批判、アジア諸国との経済的な結びつきを重視する必要性が生じたことから、1970年代にこの政策は完全に廃止されました。
問6	答え 2 内陸部の開発を目的として計画的に建設され、近代的な都市景観が世界遺産に登録されている。	ブラジル政府は、沿岸部と内陸部の格差を是正するために、未開発だった内陸の高地にブラジリアを建設しました。この都市はルシオ・コスタの都市計画とオスカー・ニーマイヤーの建築によってデザインされ、1987年に世界遺産（文化遺産）となりました。リオデジャネイロは1960年までの旧首都、サンパウロは南米最大の経済都市という特徴があります。
問7	答え 4 国土の大部分が乾燥帯に属しており、砂漠や草原が広がっているため。	気候帯と土地利用、および人口分布の因果関係を問う問題です。オーストラリアは内陸部を中心に降水量が極めて少ない乾燥帯が広がっているため、森林が形成されにくく、森林面積の割合が低くなっています。また、この厳しい自然環境により大規模な都市形成や農耕が困難な地域が多いため、広大な面積に対して人口が少なく、人口密度も極めて低い数値を示します。
問8	答え 4 かつて9割近くを占めていたヨーロッパ州からの割合が低下し、アジア州からの割合が最大となった。	オーストラリアでは1961年時点で移民の89.7%をヨーロッパ州出身者が占めていましたが、2016年には34.4%まで低下しました。代わってアジア州からの移民が大きく増加し、2016年には43.9%に達して最大の出身地域となっています。これは、かつての白豪主義から多文化主義へと政策が転換され、地理的に近いアジア諸国との結びつきが強まったことを示しています。
問9	答え 4 都市部の方が農村部よりも仕事の選択肢が多く、より良い現金収入や生活環境が得られると考えられているから	ブラジルの農村から都市への人口移動は、都市と農村の間の経済的格差が大きな要因となっています。急速な経済成長を遂げる都市部には、工場などの労働の場が多く存在し、農村よりも生活水準を向上させやすい環境があると認識されています。このように、より良い「現金収入」や「生活環境」を求めて人々が移動することを、都市流入の動機として捉えることができます。
問10	答え 4 オセアニア州	サモアやトンガは、太平洋の中でも赤道より南側に広がる「ポリネシア」という地域に含まれる独立国です。これらの島々は、オーストラリアやニュージーランドと共に、世界を6つに分けた「州」の単位では共通のグループに属しています。
問11	答え 2 標高が高く冷涼な気候であり、家畜として飼育しているリャマやアルパカの毛が容易に入手できるため。	アンデス高地は標高が高いため、低地に比べて気温が低く、リャマやアルパカといった寒さに強い家畜の放牧が行われています。これらの家畜の毛は保温性が非常に高いため、防寒具としてのポンチョの素材に最適です。また、袖のない形状は、気温の変化に合わせて重ね着をしたり、作業をしやすくしたりするための工夫でもあります。他の選択肢は、東南アジアの湿潤地域や西アジアの乾燥地域などの特徴を述べています。
問12	答え 1 国土の大部分が乾燥した砂漠や草原であり、農業や居住に適した地域が限られているため	オーストラリアの人口密度が低い背景には、その特殊な自然環境が関係しています。国土の約3分の2は乾燥帯に属しており、内陸部にはグレートサンディ砂漠やビクトリア砂漠などの広大な砂漠や草原が広がっています。水資源の確保が困難なこれらの地域にはほとんど人が住んでおらず、人口の大部分は気候が温暖で湿潤な南東部の沿岸都市（シドニーやメルボルンなど）に集中しています。